

平成26年度 事業報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人モア・グリーン・ゴビ税理士の森基金

1 事業の成果

設立後12年を迎えた平成26年度の本基金の事業は、現地スタッフを招いての報告会は実施できなかったが、その他の計画した事業はほぼ順調に実施することができた。また、特定非営利活動法人としての基盤整備を図る上で重要な会員の入会については、正会員493名、賛助会員48名、8団体となり、前年より減少したが、本基金の目的と地球緑化活動に対する理解を深めることができた。

また、本年も植樹訪中団の派遣は中止としたが、東日本大震災の被災地である宮城県山元町及び女川町において復興支援の一環として植樹活動を行った。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
ゴビ沙漠等植樹育成事業	通算で第17次となる植樹訪中は中止としたが、植樹地域における植樹・育成管理について現地スタッフに委託し、本年度はポプラの苗木3,000本の植樹と既植樹分の育成管理を行った。	4月から3月	ダラトキ地区	1名	植樹地域住民の不特定多数	1,038
	東日本大震災被災地へ復興支援として10月5日に宮城県山元町を訪問し、ヤブ椿を50本植樹した。また、翌6日には女川町を訪問し、こぶし等の苗木30本の仮植樹を委託した。さらに、現地の協力者等と交流をはかった。	10月	宮城県山元町 女川町	35名	植樹地域住民の不特定多数	
普及啓発事業	本基金の活動等を案内するホームページの改訂を行った。また、本年度のアクセスは1,210件あった。	随時	法人事務所及び各種会場	15名	不特定多数	840
	書き損じ葉書の収集に重点を置いた普及啓発を図った他、10月10日に開催された第41回日税連公開研究討論会会場にPRコーナーを設置し、普及啓発活動を展開した。	随時及び10月	法人事務所及び公開研究討論会場	10名	地球環境保護に関心のある者不特定多数	
地球緑化環境保護促進推進活動への参画事業	この法人の目的や活動を同じくする団体等と新たな協調関係や提携等は結ばなかったが、シーズ(市民活動を支える制度をつくる会)に賛助会員として登録を継続した。	—	—	—	—	10